



会社名 株式会社TOKAIホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 嶋田 勝彦  
 (コード番号 3167 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員 広報部 IR室担当 谷口 芳浩  
 (TEL. 054-273-4878)

## 平成 29 年 3 月期 決算について

～大幅な増益で過去最高益を更新～

当社は、本日、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の決算を発表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

(単位：百万円)

	当期実績 (平成 28.4.1～平成 29.3.31)	前期実績 (平成 27.4.1～平成 28.3.31)	業績予想	前期比	業績予想比
売上高	178,631	180,940	179,700	△2,309	△1,069
営業利益	12,750	8,245	12,750	+4,504	+0
経常利益	12,775	8,150	12,360	+4,625	+415
当期純利益	7,337	3,458	6,500	+3,878	+837
1株当たり利益	64.46 円	30.01 円	57.23 円	+34.45 円	+7.23 円

### 1. 大幅な増益で過去最高益を更新

平成 29 年 3 月期の連結業績は、売上高 1,786 億円、営業利益 128 億円、経常利益 128 億円、当期純利益 73 億円となりました。

営業利益は前期の 82 億円に対し 45 億円の大幅増益（54.6%増）となり、全ての利益項目が過去最高益を更新しました。

重点施策である光コラボ<sup>※</sup>が前期に行った積極的な販促が奏功して 29 億円改善し、また、アクア（宅配水）事業も販売戦略の転換等により収支が 14 億円改善して中間期に続き黒字化を達成しました。

また、昨年 10 月に上方修正した連結業績予想に対しても、営業利益、経常利益、当期純利益の予想値をいずれも達成しました。

## 2. セグメント別には情報通信、アクア、CATVの各事業の営業利益が上伸

売上高は、ガス・石油セグメントがガスの仕入価格低下による販売価格是正の影響 65 億円により、9.2%の減収となりました。

一方、リテール顧客件数の増加や、前述の光コラボ推進などにより情報・通信、CATV、アクアの各事業における増収が一部を補い、前期並みとなりました。

利益面の大幅増は、これらリテール顧客件数増加による増益が主な要因となりました。

## 3. グループ顧客件数が引き続き純増

主力のガス事業、CATV 事業が新規登録件数の増加により 2 期連続の増加となりました。

アクア事業は、コスト効率重視の営業体制に転換したうえでも堅調に顧客件数を伸長させることができました。

情報・通信は、光コラボ化を進める一方、従来型 ISP 等が光コラボへの転用等により減少しました。

これらにより、平成 29 年 3 月期末のグループ顧客件数は、前期末から 6 千件増加して 2,564 千件となりました。

## 4. 財務面の改善がさらに進捗

平成 23 年 4 月の経営統合以降、6 期にわたり注力してきた財務体質の改善がさらに進捗しました。

有利子負債残高は、返済に加えて平成 27 年 6 月に発行した転換社債型新株予約権付社債の株式への転換もあり 541 億円まで減少、自己資本比率も 34.5%に改善しました。

EBITDA についても、大幅な増益により再び 280 億円の水準を回復しました。

## 5. 1 株当たり配当金は 2 期連続の増配で倍増

平成 29 年 3 月期は、当社の第 2 次中期経営計画「Innovaiton Plan 2016 “Growig”」の最終年度にあたり、全ての利益項目が過去最高益を更新して計画値を達成しました。

平成 29 年 3 月期の年間配当金は、平成 28 年 10 月に増配を公表したとおり、中期経営計画達成記念配当 6 円を加えた 1 株当たり 28 円と、前期の 14 円に対し倍増となります。

	平成 29 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
第 2 四 半 期 末	11.00 円	6.00 円
期 末	17.00 円 (普通配当 11.00 円) (記念配当 6.00 円)	8.00 円
年 間 配 当 金 合 計	28.00 円	14.00 円
配当金総額 (合計)	3,416 百万円	1,601 百万円
配当性向 (連結)	43.4%	46.7%
純資産配当率 (連結)	7.0%	3.8%

詳細につきましては、別添の「平成 28 年度決算について」をご参照ください。

また、平成 29 年 3 月期決算短信は、以下の URL をご参照ください。

<http://tokaiholdings.co.jp/ir/library/earnings.html>

以 上

※ISP 事業者ほかから NTT から光回線の提供を受け、独自ブランドの光回線サービスを提供すること

# 平成28年度決算について

株式会社TOKAIホールディングス  
(証券コード:3167)

平成29年5月9日

## 大幅増益で過去最高益を更新

- ◎ 昨年10月に上方修正した業績予想を概ね達成
- ◎ 重点施策である光コラボ、アクア事業での収支改善が順調に進み(2事業で44億円改善)大幅な増益に。アクアが事業開始以来初の黒字化。
- ◎ ガス原料値下がりに伴う価格改定の売上高への影響が前期比△65億円

(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

	当期実績	前期	業績予想	前期比		業績予想比	
				増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
売上高	178,631	180,940	179,700	△2,309	△1.3	△1,069	△0.6
営業利益	12,750	8,245	12,750	+4,504	+54.6	+0	+0.0
うち、光コラボ	△67	△3,007	△442	+2,940	-	+375	-
うち、アクア	298	△1,119	301	+1,417	-	△3	△1.1
経常利益	12,775	8,150	12,360	+4,625	+56.7	+415	+3.4
当期純利益	7,337	3,458	6,500	+3,878	+112.1	+837	+12.9
(1株当たり利益)	(64.46)	(30.01)	(57.23)	(+34.45)	(+114.8)	(+7.23)	(+12.6)

※光コラボ、アクアの営業利益は間接費配賦前ベース

# セグメント別の実績(前期比)

- ◎ 売上高は課金件数増加による増収の一方、ガス価格是正の影響(△3.6%)により前期並み
- ◎ 情報通信がコンシューマ向けの光コラボ推進で19億円の増益
- ◎ アクア事業がコスト効率重視に戦略を転換し14億円の収支改善、単年度黒字達成
- ◎ CATV事業が顧客件数の伸びや営業費用の削減により8億円の増益 (単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	当期実績	前期比増減率	当期実績	前期比増減額
ガス・石油	73,344	△9.2%	9,161	+170
情報・通信	49,508	+11.9%	4,213	+1,905
CATV	25,396	+3.2%	2,752	+777
建築・不動産	19,511	△7.0%	1,098	△168
アクア	5,762	+5.0%	298	+1,417
その他・調整額	5,108	+4.8%	△4,774	+403
合計	178,631	△1.3%	12,750	+4,504

※数値は間接費用等配賦前ベース

2

## グループ顧客件数

- ◎ グループ全体で256万件、前年から6千件の増加
- ◎ ガス、CATVは新規登録件数の増加により2期連続の純増、顧客基盤を拡充
- ◎ アクア事業はコスト効率重視に転換も、堅調に顧客件数を伸長させた
- ◎ 情報通信は光コラボ化を進める一方、従来型ISP等が減少

(単位:千件)

		23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	当期末
ガス(LP・都市ガス)		648	629	628	626	634	642
情報通信	従来型ISP等	758	816	854	859	633	528
	光コラボ	—	—	—	4	219	299
	モバイル	193	213	227	235	236	233
	小計	951	1,029	1,082	1,099	1,088	1,061
CATV		722	691	693	690	710	733
アクア		97	102	122	130	133	135
セキュリティ		20	19	19	18	18	17
合計		2,415	2,445	2,519	2,537	2,558	2,564

※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

3

# 財務指標の改善がさらに進捗

- ◎ 経営統合以降、6期にわたり注力してきた財務体質改善がさらに進捗
- ◎ 有利子負債残高は541億円まで減少、自己資本比率も35%に改善
- ◎ EBITDAは収支改善が順調に進み、284億円まで増加

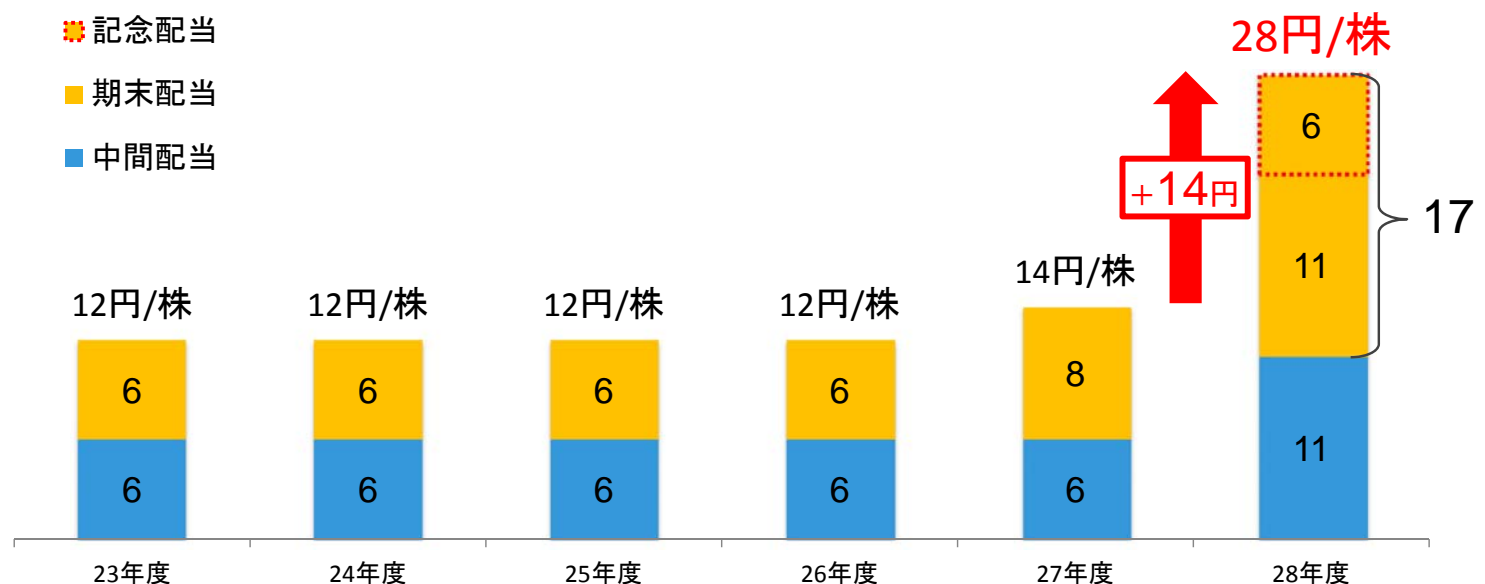
(単位:百万円)

	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	当期末
資産合計	183,735	177,642	173,620	165,702	160,303	161,112
負債合計	156,553	143,631	135,291	122,234	118,332	104,665
純資産合計	27,181	34,011	38,329	43,467	41,970	56,446
有利子負債残高	105,659	93,668	85,843	73,114	71,410	54,137
E B I T D A	28,826	26,382	24,965	26,233	24,980	28,392
自己資本比率	14.3 %	18.6 %	21.6 %	25.7 %	25.6 %	34.5 %

4

## 2期連続の増配、かつ倍増

- ◎ 28年度は過去最高益を計上し、第2次中期経営計画IP16最終年度の計画値を達成
- ◎ 昨年10月に公表したとおり「IP16達成記念配当6円」を含み年間28円/株を配当
- ◎ 2期連続の増配、かつ、28年度は前期の年間14円/株から倍増



5

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス IR室  
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8  
TEL: (054)275-0007  
FAX: (054)275-1110  
<http://tokaiholdings.co.jp>  
e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

